

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

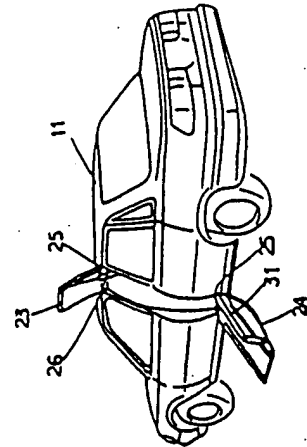
JA 0119445
MAY 1989

(54) AUTOMOBILE

(11) 1-119445 (A) (43) 11.5.1989 (19) JP
(21) Appl. No. 62-276696 (22) 31.10.1987
(71) CENTRAL JIDOSHA K.K. (72) MASAHIRO SETO
(51) Int. Cl. B60R5/00, B60J5/04, B62D25/04

PURPOSE: To make it possible to reduce the height of lift-up of a luggage adapted to be loaded on an automobile by providing a luggage storage space between the front and rear seats, and by providing a cargo storage door in a body on one side of the storage space.

CONSTITUTION: An upper door 23 for storing a luggage, provided in an automobile body 11 in the upper part of the side section of a luggage storage space, is leaped up, and then, a lower door 24 for storing a luggage, constituting a luggage storing door assembly together with the upper door 23, is pushed down so that both doors are opened. Accordingly a luggage carried by a passenger is introduced through the doors 23, 24, and is stored in a luggage storage space formed between the front and rear seats. Meanwhile, the passenger boards on the automobile through an entrance door, and sits on the front or rear seat. Accordingly, when a luggage is loaded on the automobile, the height of lift-up of the luggage may be reduced.



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平1-119445

⑬ Int. Cl.

B 60 R 5/00
B 60 J 5/04
B 62 D 25/04

識別記号

庁内整理番号

7443-3D
Z-6848-3D
B-7222-3D

⑭ 公開 平成1年(1989)5月11日

審査請求 未請求 発明の数 2 (全6頁)

⑮ 発明の名称 自動車

⑯ 特 願 昭62-276696

⑰ 出 願 昭62(1987)10月31日

⑱ 発 明 者 瀬 戸 正 洋 神奈川県相模原市大山町4番12号 セントラル自動車株式会社内

⑲ 出 願 人 セントラル自動車株式会社 神奈川県相模原市大山町4番12号

⑳ 代 理 人 弁理士 安原 正之 外1名

1. 発明の名称

自動車

2. 特許請求の範囲

(1) ボデー内部の乗員搭乗空間内に設ける前部座席と、前部座席の後方に位置する後部座席と、前部座席および後部座席の間に設ける荷物収納空間と、荷物収納空間側のボデーに設ける荷物収納用下部ドアとを有することを特徴とする自動車。

(2) ボデー内部の乗員搭乗空間内に設ける前部座席と、前部座席の後方に位置する後部座席と、前部座席および後部座席の間に設ける荷物収納空間と、荷物収納空間側上部のボデーに設ける上部をヒンジとして開閉する荷物収納用上部ドアと、荷物収納空間側下部のボデーに下部をヒンジとして開閉し、荷物収納用上部ドアとともに荷物収納用ドアを構成する荷物収納用下部ドアと、荷物収納用下部ドアの開状態では、荷物収納空間の後部座

席側に掛け渡されるとともに、一端はボデーに固定され他端は荷物収納用下部ドアに固定される荷物収納用下部ドア開閉リンクとを有することを特徴とする自動車。

3. 発明の詳細な説明

(イ) 産業上の利用分野

この発明は、旅行ケース等大きな荷物を乗員と共に運搬可能な自動車、詳細には、このような運搬に適するタクシーとしての利用可能な自動車にかかる。

(ロ) 従来の技術

従来、空港、ホテル、新幹線の停車駅等長距離旅行者が乗降する場所で、大きな旅行ケースを所持する人がタクシーを利用する場合、タクシーの後部ラゲジスペースに二人がかりで、旅行ケースを収納するのをよく見掛ける。このように、従来いわゆる乗用自動車をもちいて、旅行ケースのような大きな荷物を、乗員と共に運送する場合、自動車の後部トラックに収納していた。

取り付け状態の内部斜視図をあらわす第2図、同作動状態の外側斜視図をあらわす第3図、同第1図B-B断面図をあらわす第4図、同リンク機構の作動状態図をあらわす第5図、第6図にしたがって説明する。

(11)は自動車ボデーである。(12)は、自動車ボデー(11)内部の、乗員搭乗空間である。乗員搭乗空間(12)内には、前部座席(13)を設置する。(14)は、後部座席であり前部座席(13)の後方に設置する。(15)は、荷物収納空間であり、前部座席(12)と、後部座席(14)との間に設ける。荷物収納空間(15)の下部には、荷物下部固定部(16)を設置する。荷物下部固定部(16)は、第2図に示すように、3辺から立設するガード(17)を有する長方形の皿状からなり、ガード(17)の非形成部分を一方の自動車ボデー(11)サイド側に、この実施例では進行方向左側に向けて、乗員搭乗空間(12)の床面に固定する。

(21)は、前部乗降用ドア、(22)は後部乗降

用ドアであり、それぞれ前側辺に設けるヒンジで前部座席(13)、後部座席(14)のサイド側自動車ボデー(11)に、前側辺に設けるヒンジを固定する。

(23)、(24)は、荷物収納用ドアである。荷物収納用ドア(23)、(24)は、荷物収納用上部ドア(23)と、荷物収納用下部ドア(24)とからなる。荷物収納用上部ドア(23)と、荷物収納用下部ドア(24)とは、荷物収納空間(15)の側部の自動車ボデー(11)に上下方向に対抗させてそれぞれドア上部、ドア下部に固定するヒンジ(25)で開閉可能に取り付ける。(26)は、荷物収納用上部ドア(23)と、自動車ボデー(11)とを連結する油圧ダンパーである。油圧ダンパー(26)はエアダンパーであってもよい。(27)は、荷物収納用下部ドア(24)の内側に設けるアプローチであり、断面凹状に形成し、開口時荷物の搬入のガイドの役割を果たす。

(31)は、リンク機構である。リンク機構(31)は、3本のリンクすなわち、リンク(31)a、

(31)b、(31)c、からなる。リンク(31)aは、一端を自動車ボデー(11)の床面に回動自在に固定する。リンク(31)aの他端には、リンク(31)bの一端を回動自在に固定する。リンク(31)bの他端には、リンク(31)cの一端を回動自在に固定する。リンク(31)cの他端は、荷物収納用下部ドア(24)の内側上部に固定する。(32)は、ダンパーであり、基部は自動車ボデー(11)の床面に固定し、先端はリンク(31)aに固定する。リンク機構(31)は、第6図に示すように2セット設け、それぞれ荷物収納空間(15)の前部座席(13)、後部座席(14)との境付近に、自動車ボデー(11)のサイド方向に矩け渡される。

そこで、乗員が携帯する荷物は、荷物収納用ドア(23)、(24)から搬入し、前部座席(13)と、後部座席(14)との間に設ける荷物収納空間(15)に収納する。一方、乗員は、乗降用ドア(21)、(22)から搭乗し、前部座席(12)、あるいは後部座席(14)に着座する。

即ち、荷物収納空間(15)の側部上部の自動車ボデー(11)に上部をヒンジとして開閉するように設ける荷物収納用上部ドア(23)を上に移す。ついで、荷物収納空間(15)の側部下部の自動車ボデー(11)に下部をヒンジとして開閉し、荷物収納用上部ドア(23)とともに荷物収納用ドアを構成する荷物収納用下部ドア(24)を下に押し下げ、ともに開状態をとらせる。

荷物収納用下部ドア(24)に閉状態を取らせるときは、ダンパー(32)を最大限に伸張させ、リンク(31)a先端を荷物収納用ドアとは最大限反対側に位置させ、リンク(31)b、(31)cをひくことによって、リンク機構(31)に第5図W状態をとらせ、荷物収納用下部ドア(24)を閉じさせておく。荷物収納用下部ドア(24)に開状態をとらせるときは、ダンパー(32)を縮小させ、リンク機構(31)に第5図に示すように順次、X、Y、Z状態をとらせて行う。ドアを閉じるときは、逆の順序をリンク機構

にとらせることで行う。

ダンパー(32)を伸長すると、荷物収納用下部ドア(24)の先端は、地面に接地する。ついで、荷物収納用下部ドア(24)内面を荷物搬入路として、またアプローチ(27)で荷物をガイドさせながら、荷物を荷物収納用下部ドア(24)の接地端から乗せ、自動車ボデー(11)内部の荷物収納空間(15)の荷物下部固定部(16)内まで導き入れる。ついで、荷物収納用下部ドア(24)、荷物収納用上部ドア(23)を共に閉じる。荷物収納用下部ドア(24)は、荷物収納用下部ドアを開閉するリンク機構(31)の作用によって閉状態をとらせる。

閉状態をとると、荷物収納用下部ドア(24)一方のリンク機構のうちの閉閉リンク(31)bは、荷物収納空間(15)の後部座席側(14)と、全部座席(13)側に架け渡されるため、リンク(31)bは搭乗された荷物の側部に位置して、荷物の転倒を防止する。

次に、第2実施例の自動車の外側斜視図で

の基部に固定する。(33)は、リンク機構である。リンク機構(33)は、リンク(33)a、(33)bからなる。リンク(33)aは一端は、荷物収納用上部ドア(23)に固定し、他端はリンク(33)bの一端に固定する。リンク(33)bの他端は、両側に立設するガイド有する板状の荷物収納用スロープ(29)に固定する。そのため、ダンパー(28)を伸縮させることで、ドアの開閉と荷物収納用スロープ(29)の設置、収納が可能である。ガード(17)上部には自動車ボデー(11)サイド方向に荷物転倒防止用バーをかけ渡してもよい。

(H) 発明の効果

したがって、この発明では、乗員の搭乗空間内に貨物収納空間を設けることによって、荷物を自動車内に搭載するにあたって持ち上げる高さを減少させることが可能となる。

更に、第2発明においては、荷物収納用ドアをリンク機構で開閉させることにより、リンクを転倒防止手段と兼用させることが可能

もある第1図、動作同状態の外側斜視図をあらわす第7図、第1図A-A断面図をあらわす第8図、第1図B-B断面図をあらわす第4図にしたがって、第2実施例について説明する。

第2実施例では、荷物収納用ドアは荷物収納用下部ドア(24)の一枚からなり、第4図、第8図に示すように、ドア内側全体にアプローチ(27)をもうける。(32)は、リンク機構であり、荷物収納用下部ドア(24)の開閉作用を行う。リンク機構(32)は、リンク機構(31)と同様に構成し、荷物の転倒防止作用を与えてもよい。

第9図は、第3実施例にかかる自動車の作動状態の斜視図、第10図は、同リンク機構の作動状態図である。この実施例では、荷物収納用上部ドアは2枚の荷物収納用上部ドア(23)、荷物収納用下部ドア(24)を連結してなる。(28)は、ダンパーであり、基部は自動車ボデーに固定し、先端は荷物収納用上部ドア(23)

である。

4 図面の簡単な説明

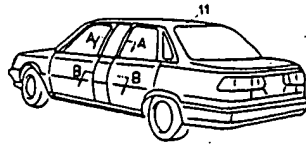
第1図はこの発明にかかる第1実施例、第2実施例、第3実施例の自動車の外側斜視図、第2図は同第1実施例のリンク機構未取り付け状態の内部斜視図、第3図は同作動状態の外側斜視図、第4図は同第1図B-B断面図、第5図、第6図は同リンク機構の作動状態図、第7図は第2実施例の動作同状態の外側斜視図、第8図は第1図A-A断面図、第9図は、第3実施例にかかる自動車の作動状態の斜視図、第10図は、同リンク機構の作動状態図である。

(11)…自動車ボデー、(12)…乗員搭乗空間、(13)…前部座席、(14)…後部座席、(15)…荷物収納空間、(23)…荷物収納用上部ドア、(24)…荷物収納用下部ドア、(31)…リンク機構

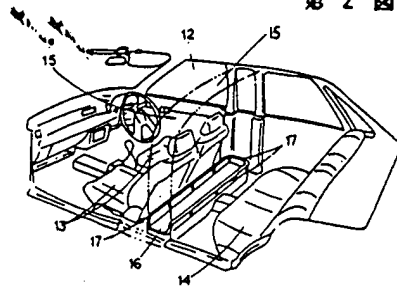
特許出願人 セントラル自動車株式会社

代理人 井理士 安 原 正 之

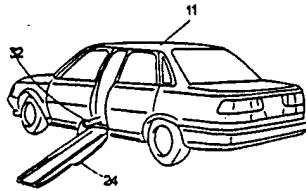
第 1 図



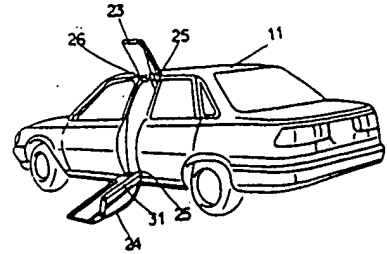
第 2 図



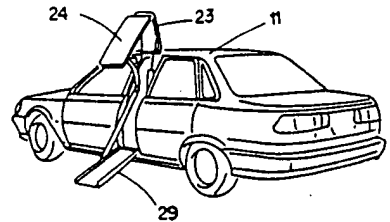
第 7 図



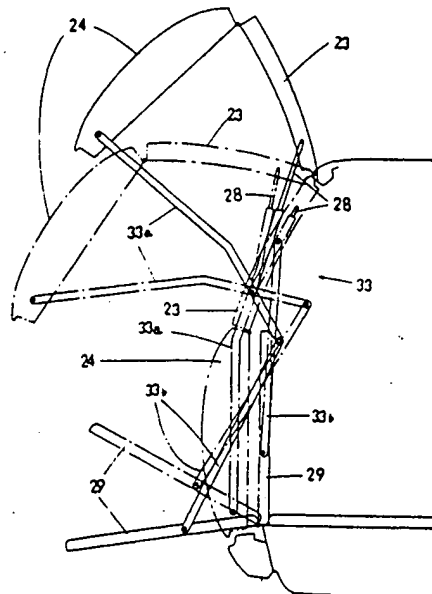
第 3 図



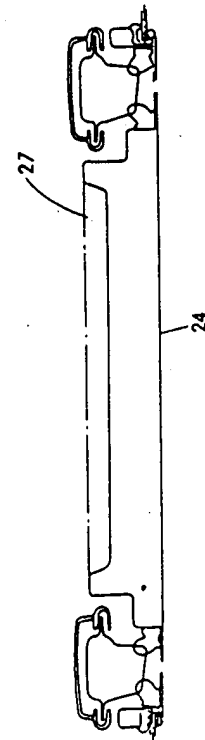
第 9 図



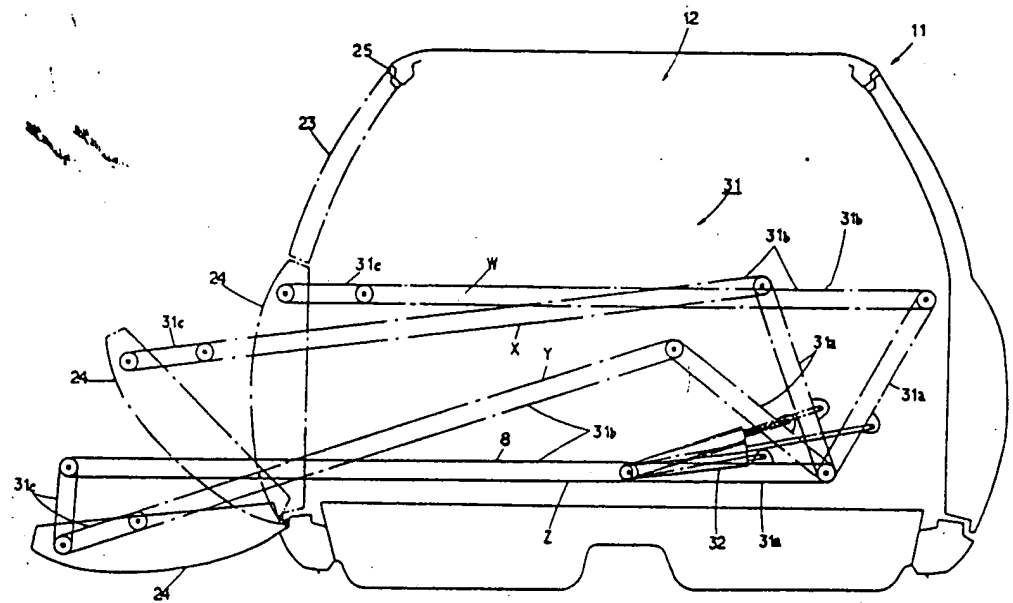
第 10 図



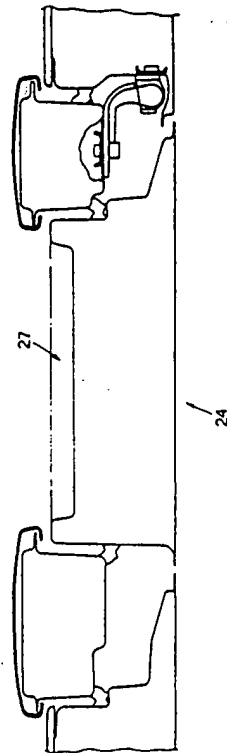
第 8 図



第 5 図



第 4 図



第 6 図

